

平成26年6月24日（火）

ふくしま保育元気アップ緊急支援事業相談支援者育成研修会 資料

あすなろ保育園 作成

～福島の子育て～

東日本大震災（放射線量）を
乗り越えていくために

1. 放射性物質による汚染

- ▶ 放射性物質との闘い（風の向きと障害物の関係で、自園の放射線量は高い。
園舎は鉄筋コンクリートなので当初から低かった）
- ▶ 直ちに対応 → 園庭に敷き詰めた山梨県産の木のチップの撤去
- ▶ 樹木伐採 → やしの木の伐採・シンボルの「あすなろの木」枝を落すなど
- ▶ 平成23年9月 → 約1か月間かけて除染工事
（費用は市内の保育園で最高金額）
- ▶ 除染のため → 木の固定遊具全撤去（高圧洗浄しても線量が下がらない）
※その後、ゴムチップを敷き詰めた上にアスレチック遊具を設置
- ▶ 園外のウッドテーブル・イス撤去

屋根からの水が垂れていた

2. 除染後の放射線量数値

- ▶ 線量が下がらず（0.5～0.6 μ Sv/h）第2園庭の雑木林（みどりのおへや）立入禁止
- ▶ 大好きな土手登り禁止

除染の範囲に限界があった

3. あすなろ農園の休園

- ▶ 数多くの野菜を栽培していたが、玄関でのプランター栽培に変更
- ▶ 平成26年度から、ビニールハウスで栽培開始（作ったものを食べる予定）

4. 食材の厳選

- ▶ 地産地消から県外産へ（モニタリング済みのもの）
復興の足かせになるが、保護者の意向に沿って子どものみ
- ▶ 調乳用・1歳児までのお茶は購入した水を使用（個別にも対応）

5. 震災後の保育

（1）戸外あそびと散歩

- ▶ 放射線量に関してはデリケートな問題なので、保護者アンケートを実施してすべて個別対応
- ▶ 戸外活動は、10分間から始め30分間 土に触れない限られた空間であそぶ
- ▶ 平成26年度 園庭改修工事後、1時間の希望と制限なしまで幅広い
- ▶ 散歩は、保育園近隣の道路の除染が終わらないため、線量が高く実施できない

6. 自然物や飼育物

- ▶ 1年目 → 県外の物のみ
- ▶ 2年目から → 県内の物も取り入れる
- ▶ 支援物資でいただいたものを活用して、木の実の製作や芋掘りごっこ・落ち葉プールなどを疑似体験

7. 水あそび

- ▶ 例年使用していた場所の放射線量が高く、組立式プールを戸外に出せない
- ▶ 肌を露出することに不安があるなどから、1年目は室内シャワーのみの対応
- ▶ 平成24年度 → サンルームを設置して、全天候型で思う存分プールあそびを実施
- ▶ 平成26年度 → 園庭を改修しグリーンチップにした上にプールを出す（3年ぶり）

8. 砂あそび

- ▶ 砂を入れ替えても、放射線量が少しずつ高くなるため使用することが困難
室内用の砂場を設置

9. 生活環境

(1) 窓の開閉

- ▶ 1年目の除染前 → 窓を開けない（空気清浄機とエアコン使用のみ）
猛暑で、感染症は例年より多かった
- ▶ 除染後 → 空間線量を見ながら開閉
- ▶ 2年目 → 原発事故以前同様

(2) 洗濯もの → 室内干し 平成26年度はウッドデッキを改修したので外に干す

(3) その他 マスクをする子が増えた 平成25年度からは減少

10. 運動遊び

- ▶ 今まで以上に、意図的・計画的・個別に応じた運動あそびを実施
- ▶ 運動器具の購入
- ▶ 外部講師招聘など（リトミック・3 B体操・スイミングスクール）

11. 外部支援

- ▶ 多くの方（ボランティア・NPOなど）の支援を頂き、今まで経験できなかったこと（自然の中であそぶ・スキー場での雪あそび・魚つかみ・サッカー観戦など）を実践している。

1 2. 行事

- ▶ 遠足 → 県外・線量の低い会津方面
- ▶ 夏祭り → 1年目は室内 2年目は一部屋外 平成26年度は飲食以外は戸外で実施
- ▶ 運動会 → 小学校の体育館 平成26年度は園庭で実施予定
- ▶ 焼き芋 → 実施できない

1 3. ホットスポットは

- ▶ 2年経過しても改善されなかった場所は、出来るところから改修工事を実施
屋根のないウッドデッキ・駐車場・土手からの雨水が流れ落ちる園庭・砂場

14. 3月30日の講演会から

(1) 保護者・職員の感想

- ▶ 理解しやすい説明で、何に気をつければ良いかが分かった。
- ▶ ただ怖がらずに、本質を見極めることが重要だと感じた。
- ▶ 積算線量に留意することにした。
- ▶ 福島で子育てしている保護者が、安心できる環境にしていくことや、講演会を開催して理解を深めることの重要性を再確認した。
- ▶ モニタリングをして、ホットスポットを除染したい。

15. 散歩コースモニタリング

- ▶ 6月14日（土）10：00～15：30まで5コースのモニタリング
- ▶ 実施者：布施 雅彦先生／福島高専の学生さん2名／あすなろ保育園3名
- ▶ 保育園が今まで実施していた散歩コースをモニタリング

参加者の感想»

- ▶ ホットスポットのある場所が見えてきた。
- ▶ 放射線がどういう方向から飛んできたのかが良く分かった。
- ▶ 安全な場所はあるので厳選して少しずつ散歩を実施したい。

放射線がどこから飛んできたかを
調べる測定器も実用化されています



仕上がったグリーンチップの上で
三年ぶりの三輪車乗り



改修したウッドデッキでかけっこ



屋外でのプール遊び



ビニールハウス栽培